

浸水継続時間マップ

この地図は、国土交通省が公表している「多摩川水系多摩川、浅川、大栗川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)」を基に、台風や大雨によって引き起こされる多摩川の氾濫による浸水を想定し、その浸水継続時間を示した図です。

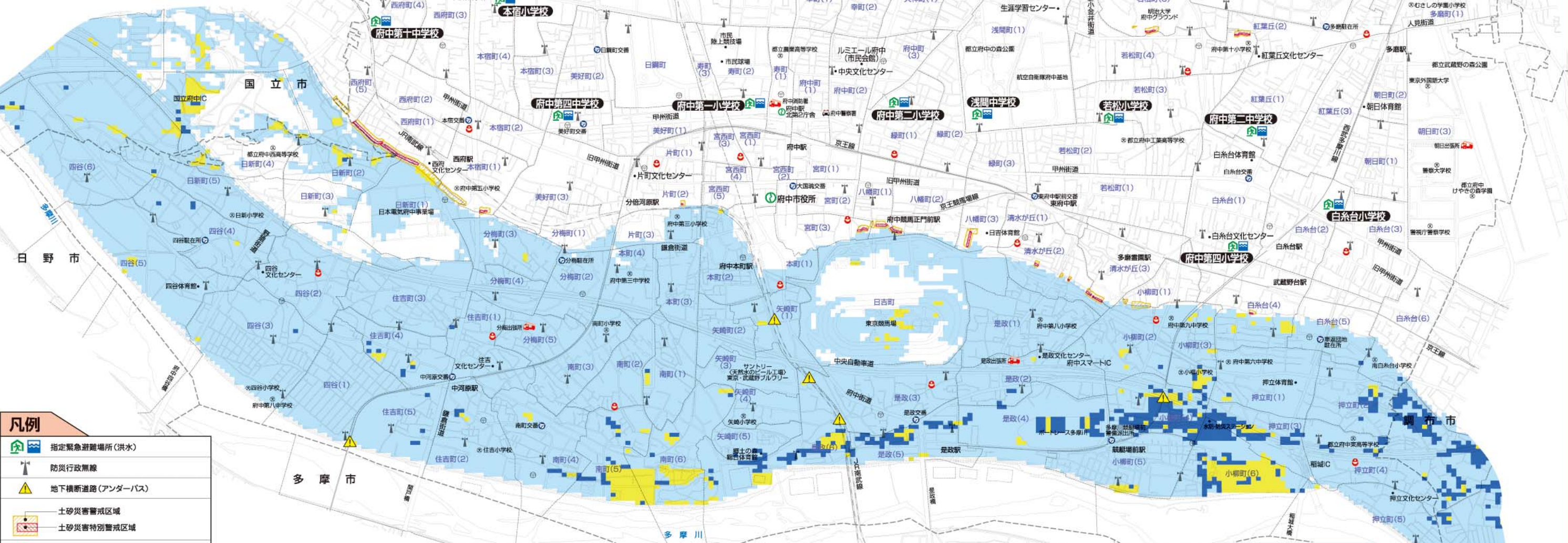
浸水想定区域(浸水継続時間)とは…

想定最大規模降雨(多摩川流域の48時間総雨量588mm)により、多摩川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域の浸水継続時間を示したものです。

作成主体：国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所
指定年月日：平成28年5月30日

浸水継続時間凡例	
	12時間の区域
	24時間(1日間)の区域
	72時間(3日間)の区域

1 : 23,000
0 100 500 1000m



凡例	
	指定緊急避難場所(洪水)
	防災行政無線
	地下横断道路(アンダーパス)
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域
	府中市役所
	警察署
	交番・駐在所
	消防署・消防出張所
	防災センター(消防団詰所)

【地図をご覧いただく際の注意点】

- ・地図に示した浸水の予想される範囲や継続時間は、任意の想定に基づいたシミュレーションの計算結果であり、土地の危険性を示すものではありません。また、浸水の予想されない範囲の安全性を保証するものでもありません。
- ・地図に示した浸水の予想される範囲以外でも、状況によっては浸水する可能性があります。
- ・浸水の予想される範囲及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化することがあります。

外水氾濫とは(多摩川の洪水)

大雨が降り、河川に集められた雨水が水位を上昇させることで、堤防を越流させたり堤防の決壊を引き起こすことを外水氾濫といいます。
外水氾濫は、大量の水が速い速度で市街地へと一気に流れ込み、わずかな時間で住宅などへ浸水するため、甚大な被害を発生させます。また、流れ込んでくる水は泥水のため、洪水がおさまった後も土砂や汚泥が堆積してしまい、復旧に時間がかかるといわれています。

